



Press Release
April 23, 2012

世界中のアコーホテルズで、スタッフ、ゲストと一丸で 取り組むサステナビリティ改革プロジェクト: PLANET 21

アコーは約 20 年間、サステナブル・デベロップメント(環境を破壊せずに持続して資源を利用する)に対する多くの活動を行ってまいりました。サステナビリティに対する重要性を考え、全ホテル、全スタッフそして全ゲストと一丸となり、アコー全体として今まで以上にサステナビリティに対する取り組むため、アコーのホスピタリティの戦略と開発の中心として、PLANET 21 を発表しました。

アコーは、本日、PLANET21 を発足し、環境、社会、コミュニティ活動の分野をカバーした新たなサステナブル・デベロップメントに対する取り組みをアコーのビジネス戦略の中心として世界中で行っていきます。アコーは、2015 年を目標に次のアクティビティーを含む 21 の約束を掲げ、実施いたします - 全体の 95% のホテルスタッフが病気の予防に関するトレーニングの受講、80% のホテルでバランスのとれた料理を提供、85% のホテルでエコラベルプロダクトの使用、世界中のアコーマネージメントホテルにおいて、15% の水消費量削減およびエネルギー使用量の 10% の減少など

PLANET 21 の由来

PLANET 21 は、アコーのサステナビリティ(環境を破壊せずに持続して資源を利用する)プログラムの名称。数字の「21」は、21 世紀を意味します。科学者たちは我々が地球に与える影響を根本的に変えない限り、22 世紀を迎えられないと賛同しています。したがって、21 世紀は我々にとっての転機といえます。また「21」は、1992 年に、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミット(環境と開発に関する国連会議)で、21 世紀に向けた持続可能な開発のための人類の行動計画「Agenda 21」を再認識させる、サステナビリティのコミュニティにとって非常に象徴的な数字でもあります。

Chairman and Chief Executive Officer of Accor、Denis Hennequin は、「アコーネットワークが拡大し、ホテル業界のグローバルリーダーを目指す上で、私たちは PLANET 21 で掲げた 21 の約束を果たすことの責任を再認識しています。アコーでのホスピタリティの戦略と開発の中心としてサステナブル・デベロップメントにアコー全体で取り組むことにより、サステナブル・デベロップメントは、私たちに新しいビジネスモデルを導くものと確信しています。PLANET21 は私たちのブランドに新たな魅力を加えると同時に、私たちのビジネスパートナーやゲストを魅了し、そしてアコーで働くスタッフに誇りを与える、大変素晴らしい影響を生むプロジェクトです」と PLANET 21 の重要性を強調しています。

1994年にアコーは初めて環境部を設立し、地域社会の発展を支援する活動をはじめ、水とエネルギー消費量を削減し、ホテルでの環境フットプリントを減らすためにさまざまな活動を実施してきました。今後はPLANET 21プロジェクトとともに、さらにサステナブル・デベロップメントに対する取り組みをスタッフ、ビジネスパートナーそしてゲストの皆さまと一丸となり、促進していきます。

PLANET 21 - スタッフ、ゲスト、そしてビジネスパートナーとの一丸となった取り組み

PLANET 21 プロジェクトは、ホテルが取り組む活動にゲストが参加できるようなプログラムとなっています。予約に始まり、宿泊、そして食事を通じ、ゲストはホテルが実施している活動やメッセージを発見することができ、簡単にホテルの取り組みに参加することができます。PLANET 21 で使用しているメッセージは、フレンドリーで簡単に理解できるメッセージとなっているため、ゲストが参加しやすいよう考慮されています。

上記に加え、アコーではさらにフランチャイズホテルやマネージメントホテルが、サステナビリティパフォーマンスにおける改善や、国際的に認識されるサステナビリティにおける事例に取り組むよう、PLANET 21 プロジェクトの一環として、積極的に参加するよう促進しています。また、サプライヤーに対しても今まで以上にサステナブル・プロダクトやサービスを利用するように PLANET 21 の取り組みをシェアしています。

PLANET 21 プロジェクトの実施を保証するために、サステナブル・デベロップメントにおける 65 のアクションリストを元にテストを行った結果、活動レベルが基準に達しているホテル、および国際的な環境認証を受けているホテルでは、PLANET 21 メッセージだけを使用しています。

PLANET 21 –さまざまな調査を元にしたプログラム

PLANET21を発足するにあたり、アコーは、環境フットプリントとゲスト満足度に関する包括的かつ客観的な情報を得るために2つの前例のない国際的な調査を委託しました。2011年に環境フットプリントの影響を測定し、改善に向け優先的に行うべき活動と目標設定をしました。また、この調査で、サステナブル・デベロップメントは、レジャーとビジネスどちらセグメントにおいて、1つの選択基準となっていることが明らかになりました。例として、約67%のレジャーゲストは、ホテルを選択する際にサステナブル・デベロップメントにおけるホテルの活動を考慮に入れるということが分かりました。

Executive Vice President Sustainable Development and Academies for Accor, Sophie Flak は「現在、私たちの約70%のキーアカウントクライアントのサプライヤーポリシーの中にサステナブル・デベロップメントの規定が入っています。2人のうち1人のゲストがこの規定によりホテルを選択すると答えています。スタッフと一丸となり、私たちの目標を明確にし、ゲストが参加できるPLANET 21プロジェクトを実施していきます」とアコー全体としてのキープロジェクトであることをコメントしました。

Plant for the Planet について

PLANET 21では、ホテルオペレーション上、エコシステムをいかに保存することができるかに力を注いでいます。森林再生のパイオニアとして、アコーは、Plant for the Planetプロジェクトとして、ゲストにタオルの再利用を呼びかけ、ランドリーコストを削減し、それにより2008年より世界中に約200万本の植樹をしました。Plant for the Planetプロジェクトでは、タオルの再利用5枚毎にアコーは世界中の植林地に1本の木を植えることを実施しています。Plant for the Planetプロジェクトでは、森林再生プロジェクト開発におけるエキスパートであるPUR Projectの創立者であるTristan Lecomteと連携し、プロジェクトを進めています。

PLANET 21における日本での活動

アコージャパンでは、メルキュールホテル銀座東京をPLANET 21のパイロットホテルとして選定いたしました。東京の中心地に位置するメルキュールホテル銀座東京は、アコーの中でも特に好評いただいているミッドスケールホテルであり、PLANET 21のサステナブル・デベロップメントの基準を満たす活動に多く取り組んできました。



メルキュールホテル東京銀座ではPlanet 21が掲げる柱の1つ、「健康」を選び、ビストロレシャンソンでは国産や自然食品を使用したメニュー、PLANET 21を提供しました。PLANET 21メニューをご注文いただいたゲストには抽選会に参加していただき、PLANET 21アクティビティの1つとして当ホテルと共にPLANET 21のプロジェクトに取り組んでいます。PLANET 21メニューの宣伝はホテル、レストラン入口、メニューボードなどあらゆる場所に掲示されました。



また、アコージャパンでは、いくつかのビジネスパートナーと協力し、藤沢ビーチクリーニングプロジェクトに参加し、総勢100名のボランティアと共にビーチ沿いのゴミを集め、元の美しいビーチに戻すための活動に積極的に参加し、日本でのPLANET 21のプロジェクトにおける第一歩として、スタートを切りました。



アコーについて

アコーはフランス・パリを拠点とした世界90ヶ国に約4,400のホテル及び500,000ルームを展開している世界最大級の国際的なホテルチェーンです。アコーでは、ソフィテルを始め、プルマン、Mギャラリー、ノボテル、スイートノボテル、メルキュール、アダジオ、イビス、オールシーズンズ/イビススタイルズ、エタップホテル/フォーミュラ1/イビスバジェット、そしてモーテル6と、ラグジュアリーからバジェットまで幅広いカテゴリーのホテルブランドを展開しており、ワールドワイドで145,000名のアコースタッフが約45年の間に培った知識・経験を活かし、ニーズやリクエストに対応した心温まるサービスで、ゲストやパートナーの方々をお迎えいたしております。

MEDIA CONTACTS

Evan Lewis

Vice President Communications – Accor Asia Pacific

Evan.LEWIS@accor.com

Eri Asaba

Marketing Executive – Accor Japan

Eri.ASABA@accor.com